

会議の要旨（議事録）

会議の名称	第6回鳥栖市総合計画審議会		
開催日時	令和3年2月15日（水） 18:00～19:20	開催場所	鳥栖市役所 3階大会議室
出席者数	委員 17人 事務局 5人	傍聴人数	0人
議題	(1) パブリック・コメント意見への対応について (2) 第7次鳥栖市総合計画（案）について (3) 答申		
配布資料	【資料1】パブリック・コメントで出された意見の内容と市の考え方 【資料2】第7次鳥栖市総合計画（案）修正箇所一覧（パブリック・コメント実施後） 【資料3】第7次鳥栖市総合計画（案）		
所管課	（課名） 総合政策課 （電話番号） 85-3511		

第6回鳥栖市総合計画審議会 議事録

1 開会

(会長) 皆さん、こんばんは。本日の第6回審議会が最後の審議会となります。前回の第5回審議会では、パブリック・コメント実施前の第7次鳥栖市総合計画案について、事務局より説明を受けたところでありました。今日は、「パブリック・コメント意見への対応」と「第7次鳥栖市総合計画案の最終稿」について準備がされておりますので、まずはそれらについての確認を行いたいと思っております。その後、審議会の答申内容としての確認を行い、市長に答申をしたいと思っております。今日は、以上のような流れで審議会を進めたいと思っております。それでは、「パブリック・コメント意見への対応」及び「第7次鳥栖市総合計画案最終稿」についての説明をよろしく願いいたします。

2 パブリック・コメント意見への対応について 第7次鳥栖市総合計画案の最終稿について

<事務局より説明>

(会長) ありがとうございます。ただいま、事務局より説明をいただきましたけれども、これらにつきまして何かご意見等がございましたらお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。お願いします。

(委員) 資料3の9ページの人口のグラフについてですが、これは実際はカラー表示でしょうか。カラーで印刷すれば多分違いは分かると思いますが、もし白黒で印刷したときに、全部グラフのマークが同じなので、形を四つ変えたほうがわかりやすくなると思いますので、もし可能であれば、四角とか丸とか三角とかに変えていただいたほうが白黒で見たとしても、わかりやすくなるのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。いかがですか。

(事務局) ご指摘いただいたとおり、表記をわかりやすく修正させていただきたいと思っております。

(会長) ありがとうございます。その他いかがですか。

(委員) 今回、パブリック・コメントにおいてたくさんの意見をいただいて、これは市のホームページ等で今後公開されることかと思っております。それを踏まえて、46番の活動指標のエレベーター設置云々のところの回答の仕方ですけれども、現実的にはこういう内容だと思いますが、私がこの御意見を讀んだときに、合理的配慮の提供とバリアフリーの推進という観点でとらえると、例えば同じように車椅子を使っている方でも、障害の程度としては、車椅子を使っているだけみたいな方から、身体の姿勢がちょっとでも変わってしまうとそれが本人の負担になるような方まで様々いらっしゃるわけですので、順番が学校の工事をするときに合わせてはならず、そこに通っている子供さんの状況等を踏まえて、実施しますというように表記できるのであれば、より市民としてはありがたいのかなと思います。例えばもう3歳ぐらいの段階から3年後ぐらいにその小学校に入学するだろうってことは想定できるから、順番を決めるときに、じゃあこっちの学校のほうを優先しようみたいな融通がきくのか、きかないのかというところですね。大規模改修工事の予定等々踏まえつつも、お子さんの今後の入学の予定とかも見据えながら取り組んでいただくという配慮ができるのかどうかも含めてちょっとお話をお伺いできればと思って質問させて

いただきました。

(事務局) 基本的に学校の大規模改修は建設年度に応じて設定をするようにしています。ただ、適宜、大規模改修、中規模改修、小規模改修を行っておりまして、ある程度年数が20年とかはなれている場合は現実的に難しいかとは思いますが、例えば数年のところでは順番を入れ替えることは不可能ではないと思いますので、今おっしゃっていただいた事を念頭においてというような言葉を回答のほうには入れさせていただきたいと思います。

(会長) ありがとうございます。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではご意見等ございませんので、先程幾つか出していただいた委員の皆様の意見等を踏まえた内容を計画案の最終稿として反映し、当審議会の答申内容としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員) 異議なく了承

(会長) ありがとうございます。なお、この計画案は市として、最終決定がなされ、議会の承認を経て、新たなまちづくり計画として策定、実行することとなっていますが、今後、軽微な修正等がある場合は、会長の私に一任していただくということでよろしいでしょうか。

(委員) 異議なく了承

(会長) ありがとうございます。それでは、これをもちまして、第6回鳥栖市総合計画審議会を閉じさせていただきますが、昨年8月5日の第1回審議会からこれまでの約7か月の間、審議委員の皆様には、大変お忙しい中お時間を頂戴し、これまで6回の慎重かつ熱心な審議を行っていただき、本日、市長に答申を行うまで辿りつきました。このことについて、まず皆様に御礼を申し上げます。この審議会では、18名の委員がそれぞれのお立場、ご経験をもとに、これからの鳥栖市のまちづくりの方向性について、様々な角度から審議を深めてまいりました。この後、これまでの審議を踏まえて策定した第7次鳥栖市総合計画案を答申という形で市長にお返しすることとなります。この答申をもって、我々審議会に課せられた役割は終えることとなりますが、鳥栖市のまちづくりはこれからも続いてまいります。今後は、審議委員の皆様1人ひとりが、まちづくりの主役であるあなた（わたし）であり、本計画に携わった1人として、この計画に基づく鳥栖市の新しいまちづくりに関心を持っていただき、本計画の推進力となっていただければと思います。これをもちまして、第6回、鳥栖市総合計画審議会を終わります。審議委員の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございます。

(事務局) 戸田会長をはじめ審議委員の皆様、昨年8月5日に第1回審議会を設置、開催いたしました。今日までコロナ禍の中、短期間の中で皆様には大変なご無理を申し上げたと思っています。これまでの慎重かつ丁寧なご審議賜りまして今日最終案という形で戸田会長から市長のほうへ答申をいただくという事となります。その後市長へ答申をしていただきますが、一旦この場を閉じさせていただいて市長が参りまして答申という形で進めさせていただきます。よろしくお願いたします。

3 答申

(事務局) それでは鳥栖市総合計画審議会の皆様から市長へ第7次鳥栖市総合計画案についての答申をお願いしたいと思います。戸田会長、市長よろしくお願いたします。

(会長) 「第7次鳥栖市総合計画の策定について」。第7次鳥栖市総合計画の策定に当た

り、昨年8月に本審議会に諮問をいただいてから今日まで6回の審議会において、それぞれの委員がそれぞれの立場や経験をもとに、限られた時間の中で議論してまいりました。本審議会の中では、市を取り巻く社会潮流や市の現状、それらを踏まえた市の課題などを知る序論、将来都市像や基本目標、将来目標人口などを示す基本構想、基本構想に位置づける将来都市像や基本目標を実現するために、基本目標の各種施策を体系化し、具体的に示した基本計画について慎重に審議を重ねてきたところです。こうした中で、「まちづくりの主役はあなた（わたし）です」の考え方や3つの鳥栖スタイルの示す意味、基本構想の構成などの大きな考え方はもちろんのこと、基本目標に位置づける各種施策の内容や指標について議論してきたところです。また、計画策定に際し、若者の意見聴取の重要性、計画策定後にいかに推進していくか、いかに市民の方々にわかりやすく周知していくかなどについても、幅広く意見を交わしてきました。今後、市総合計画委員会において第7次鳥栖市総合計画案として決定された後、鳥栖市議会への提案、議決を経て正式に第7次鳥栖市総合計画となりますが、市におかれましては、責任を持って計画を推進していただくとともに、今後、想定し得ない社会環境の変化等が起こったときには、本計画の見直し等、柔軟に対応していただければと思っております。そして、本審議会委員はもちろんのこと、市民の方々にもまちづくりの一員として積極的に関わっていただくことを切に願っております。それでは、鳥栖市総合計画審議会、条例第1条の規定により、令和2年8月5日付、鳥政第2490号によって諮問された第7次鳥栖市総合計画の策定については、当審議会において審議の結果、別冊のとおり、第7次鳥栖市総合計画案として答申いたします。令和3年2月15日、鳥栖市総合計画審議会会長、戸田順一郎。

(事務局) 戸田会長、ありがとうございます。それでは最後になりますが、市長より審議会の皆様へご挨拶を申し上げます。

(市長) 皆様、こんばんは。先ほど戸田会長のほうから答申を頂戴しましてありがとうございます。昨年8月5日に諮問を申し上げた後6回、半年以上に渡ってコロナ禍の大変な中ご審議を重ねていただきまして本当にありがたく思っています。今回頂戴しました答申を踏まえまして、3月の議会で上程をした後、議決をいただき、4月から実際に実行していく事となります。今回皆様にご教示いただきました精神を大切にしながら市民の方お1人おひとりが主役となってこのまちの活性化をしていただく、その状況をつくりだしていく務めが私達にはあると思っております。このまちで新たにチャレンジをし、新たに光を見出し、そして希望をもって皆さんが仕事や学業やそれぞれの目標に向かって活躍いただけるような地域にしていくためにも、我々も全力をつくして努力して参りたいと思っております。また、委員の皆様におかれましては今後とも我々の実行について目を光らせていただきまして、皆様のご意見が形作られているかという事もチェックいただければと思います。戸田会長からもご指摘がありましたように、アフターコロナなのか、ウィズコロナがずっと続くのかなかなか予断を許さないものがございます。巷で言われているのは、コロナ前の社会には戻らないのではないかということで、そういったことを踏まえて考えていく必要があると思っております。また、専門家の話によりますとインフルエンザと同様にコロナを我々の横にあるウイルスという事でとらえる必要があり、ウィズコロナの時代にどういう事を考え、どういう仕組みを構築しながら市政を動かしていくかという事も我々に求められているのではないかと思っております。そういった意味で今ご指摘がありましたように時代に柔軟に対応していくという事も我々の務めだと思っておりますので、その時には色々ご教示いただければありがたいと思っております。本当に長い間ありがとうございます。また委員の皆様の今後益々のご活躍とご健勝を申し上げます。ありがとうございました。

(事務局) これをもちまして鳥栖市総合計画審議会からの答申を終わらせていただきます。委員の皆様ありがとうございます。